

PROTEX-SORB®とは

【電気制御機器BOXを結露から守る新調湿システム】

電気制御機器BOXでの結露が原因で多発するクレーン障害や、これに付随して発生するネガティブコストの削減を目的とし、環境にも配慮し開発された製品です。
一般的なシリカゲル(A形)と違い水分を吸放出するため、調湿効果が長く持続しメンテナンスの負担を大幅に軽減いたしました。

PROTEX-SORB®の利用分野

【電力設備(操作箱)全般】

- 変圧器操作箱
- 分電箱
- 遮断器操作箱
- 地中線用路上機器
- 断路器操作箱
- その他制御関連機器
- CT・PT操作箱

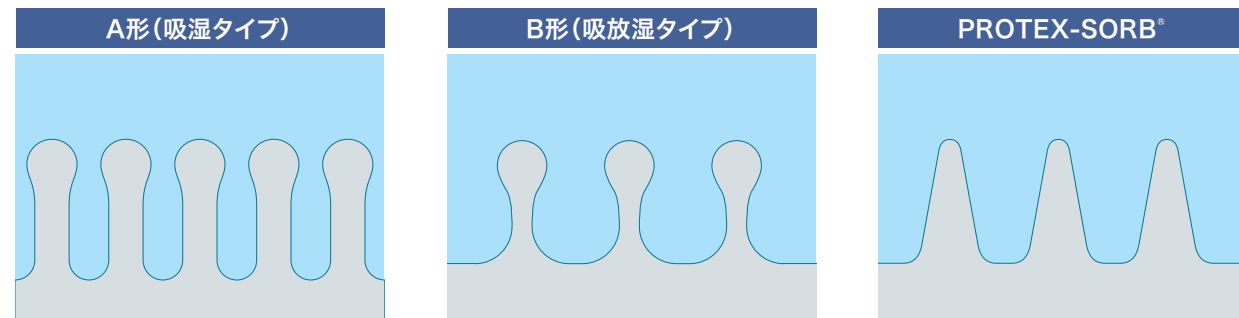
発電所以外にも!

一般工場のキュービクル内や、制御盤、配電盤、電話・情報通信設備の基地局など、屋外に設置された電機制御箱にご使用いただけます。

PROTEX-SORB®の特徴

【従来のシリカゲルとの構造上の違い】

適切な細孔を持たせた多孔質構造であるPROTEX-SORB®は周囲の水蒸気分圧(湿度)によって、高い湿度のときに吸湿し低い湿度の時に放出、これを繰り返すことにより閉鎖されているBOX内を適湿度にコントロールします。年間を通して吸放出を繰り返すため、長期間に亘って使用が可能となります。



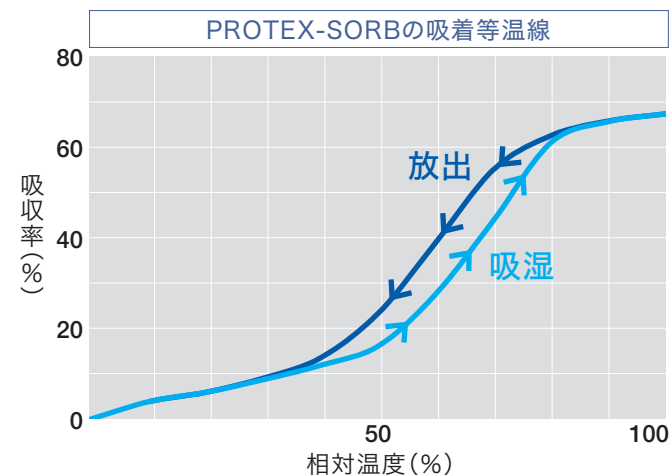
A形(吸湿タイプ)
小さい細孔容量のため低湿度から反応し吸湿率は高いものの、相対湿度が下がっても放湿性はない。

B形(吸放湿タイプ)
大きい細孔容量のため高湿度で反応し多量の水分を吸湿、相対湿度が下がれば徐々に放湿を行う。

PROTEX-SORB®
独自の細孔容量により中湿度でも反応しながらも多量の水分を吸湿可能で、相対湿度が下がれば、徐々に放湿を行う。

【プロテックスソープの性質と効果】

水分吸脱着特性により吸放出を繰り返すため、ボックス内の湿度を常に一定にコントロールできます。
更に一般的に使用されている高湿度区域(相対湿度約60%~80%)での恒湿(活性化)タイプ(B形シリカゲル)と異なり、中湿度域(約40%~65%)においてその効果を確実に発揮できる特性を有しており、理想的な湿度調節を可能にしております。



PROTEX-SORB®の使用方法

【効果的な使用方法】

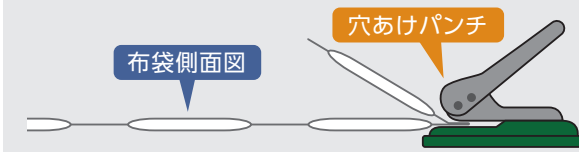
プロテックスソープの効果は使用するBOXの密閉性より、適切な効果が得られない場合があります。開口部の隙間や通気穴、配線の立上がりなどを塞ぎ、できる限り外部からの湿気(空気)の侵入を防いでください。また、パッキンが劣化している場合には交換をお勧めいたします。
日常の点検で5~30分程度の開放で、一時的に外気が入ってきても再び扉を閉めると元の湿度へ戻ります。雨天などの湿度の高い日に長時間(半日以上)開放する場合はビニール袋などに入れて一時保管し、再設置時に袋からだし規定通り設置し扉を閉めます。

【使用量の目安】

プロテックスソープは1セットあたり1小袋(50g)×120(6kg)綴りです。設置場所に合わせて必要なシール部分をカットして使用いたします。使用量の目安は、1m³あたり**1~2kg(20~40袋)**のご使用を推奨いたします。1m³以下の場合でも1kg(20袋)以上はご使用ください。

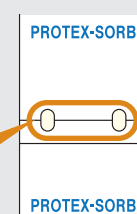
【ブラケットの使用方法と取り付け例】

「PROTEX-SORB®」のシール部分の中心で二つ折りにした状態にて、市販のパンチで穴を開けます。

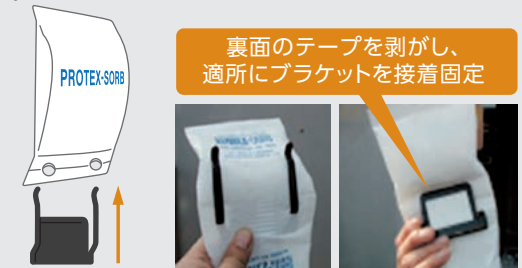


広げるとシール部分にブラケットのフックが通る穴が開きます。(ナイフ穴でも使用化)

ダルマ型の穴が開きます。



ブラケット固定の前にパンチ穴の開いた「PROTEX-SORB®」をフックに通した後、シールを剥がし壁面に接着固定します。



ブラケットの接着方法について

- ① 接着面の汚れや、水分、油分をふき取り、よく乾かします。
- ② はくり紙をはがし、取りつけたい場所に貼り、ブラケットの上から強めに押しつけます。
※接着面に触ったり、貼り直したりすると、接着力が落ちます。
- ③ テープ本来の接着力がでるまでに約1日かかります。それまではブラケットに大きな力をかけないように注意してください。

適用凡例

操作箱形状用途および、PROTEX-SORB®の量に合わせ、添付の両面テープにて扉の内側へ貼り付けてご使用ください。



専用ブラケットの取付状態

【使用量の目安】

使用量の目安密閉状況により異なりますが、一つの操作箱に対し、**約1~2kg**のご使用で十分な効果が得られます。

Pattern 1

横方向の吊り下げで!(2,3箇所留めで)



Pattern 2

縦方向の吊り下げで!(1箇所留めで並列吊りOK)



操作箱の隙間を効率よく使用し、様々な取り付け方法で